

【別紙様式】

令和2年度和光市立下新倉小学校 第2回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和2年12月21日(月) 11:00 ~ 12:15

2 場所 和光市立下新倉小学校 第1会議室

3 出席者 山崎 すみ子 柳下 雅弘 柳下 澄江 安藤 泰邦
藤原 啓 樋口 普美子

(計6名)

4 協議内容

・学校行事の開催について

- ・子どもたちにとってやはり行事は必要。
- ・行事の参加を分散型にすることで、教職員の負担は例年以上に大きかったらう。
- ・コロナによって子どもたちの自殺も増えてきている。子どもたちのケアに尽力を。いじめが増えていないかということも検討を。
- ・子どもたちの1年と大人の1年の重みは違う。来年に持ち越せないことがある。
- ・行事開催によって、教職員の一致団結した姿と子どもたちの笑顔が見られてよかった。分散型開催によって今までにない経験をした。感染に対する恐怖に馴染んでいくことが必要である。

教職員の負担軽減について

- ・先生たちが疲弊したら、子どもたちに影響がでる。先生たちへの支援があつてよかった。

学校運営協議会の役割について

- ・学校運営協議会とPTAとの役割の違いは何か。
- ・働いている世代が学校運営協議会の中にも、入っていくべきだらう。
- ・学校を核として、学校からの発信はあつても、地域からの発信がない、このことについて、コミュニティスクールが推進される必要があるだらう。
- ・学校運営協議会は、何をするか話しあう場であり、どこに依頼するのか、どこを動かすのか考える場である。
- ・学校運営協議会どうしの連携をするという考えが和光市教育委員会より示されたと理解した。

5 次回の開催日程

令和3年2月中旬で調整中。